



# 根堀台だより

平成29年5月10日

第 15 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 目指せ陸上大会！ 学校代表決定しました



5月25日(木)に、水林競技場で開催される「第71回本荘由利中学校陸上競技大会」に学校代表として出場する選手が決まりました。今年は男子14名・女子13名の計27名となります。生徒数の減少もあり、残念ながら全種目にエントリーすることはできませんでした。しかし、選手の方々には各競技だけでなく、「総合」での入賞目指して全力で頑張ってきてほしいものです。

陸上部としての栄光の記録を「学校沿革史」で見ると、昭和44年の「陸上部地区大会優勝」を初めとして、平成8年度は「陸上部女子地区大会優勝」、平成21年度と24年度は「陸上部男子地区大会優勝」、平成10年度は「陸上部地区大会総合優勝」さらに平成9年度と18年度は「陸上部地区大会総合優勝・陸上部女子地区大会優勝」、平成22年度は「陸上部地区大会総合優勝・陸上部男子地区大会優勝」と素晴らしい結果を出しています。特筆すべきは平成11年度、13年度、15年度、17年度、19年度「陸上部地区大会総合優勝・陸上部男子地区大会優勝・陸上部女子地区大会優勝」と5回も「完全優勝」を成し遂げたことです。「陸上の由利中」として名を馳せた時代がありました。

先輩たちのすごさに改めて感心させられます。選手の方々には是非由利中の伝統に誇りをもって試合に臨んでほしいものです。これから放課後、陸上の練習頑張りましょう。

### ◎男子選手団 (14名)

- ○○・○ ○・○○ ○○・○○ ○○・○ ○ ○・○○ ○○
- ○○ (以上3A)
- ○○・○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○ (以上2A)
- ・○○○○○・○○○○○ (以上1A)

### ◎女子選手団 (13名)

- ・○○○○○・○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○・○○○○○
- ○○ (以上3A)
- ○○・○ ○ ○・○ ○ ○ (以上2A)
- ○○・○○ ○○・○○○○○ (以上1A)

# どこで学んでいますか？ 「親の目届き さぼらず学習」

今の子どもたちはどこで勉強をしているのか、大手教育研究所が調査をしたところ、「家族が集まるリビングで学習している」というケースが中学3年生で6割近く、高校3年生でも4割近くに上るという調査結果がまとまりました。

この調査は、去年7月から8月にかけて東京大学とベネッセ教育総合研究所が郵送で行い、小学1年生から3年生までの保護者およそ4900人と、小学4年生から高校3年生までの子どもおよそ1万1000人が回答しました。

その中で、「学校や塾以外でどこでよく勉強をするのか」複数回答で答えてもらったところ、「家族で過ごすリビングなど」という割合は小学生の低学年ではどの学年でも9割以上、高学年でも8割以上を占めたほか、中学生でも1年生で7割近くまた3年生でも6割近くに上りました。さらに、高校生になっても1、2年生の半数近く、3年生でも4割近くが「リビングで学習している」と答えていました。

調査を行った研究所では、自分の部屋だけでなくリビングも勉強する場所として定着してきていると分析しています。

ベネッセ教育総合研究所の木村治生副所長は「親子の距離が近くなり、中学生や高校生でも保護者のそばで学習することへの抵抗感がなくなっている。また、保護者の学習に対する関心も高さもリビング学習が増える一因ではないか」と話しています。

東京世田谷区にある私立三田国際学園高校の高校2年生の教室で、聞いてみると、37人の生徒のうち17人がリビングで勉強をしていて「親の目が届くためさぼらずに学習できる」という声が多く聞かれました。

男子生徒は「自分の部屋には遊び道具やベッドなど誘惑するものがある。リビングは親がいて、干渉されるので集中できる。机も広くて使いやすい」と話していました。また、女子生徒は「リビングであれば、さぼったときに親が注意してくれる。テレビの雑音があるので、ヘッドホンをして音楽を聞きながら勉強をしています」と話していました。

(5/10 NHK「おはよう日本」朝のニュースより)



5月10日(水)、上記の調査結果について朝のニュースで報道されていました。

おそらくほとんどのご家庭で子どもたちに「自分の部屋」が与えられているのが現状だと思います。しかし、親がせっかく準備してくれた「勉強部屋」で勉強するのではなく、家族が集まる居間(リビング)の方が勉強しやすいと感じている子どもが多いということです。

確かに居間で家族と一緒にいると「安心感」など心の平静が保てる反面、家族の会話だけでなく、テレビの音なども聞こえてくることから集中力が持続できず、かつては「ながら勉強」と呼ばれてよく注意されたものでした。皆さんのご家庭ではどうでしょうか？

最近の子どもには、「自ら主体的に学習に取り組む」よりも「人から言われたから、学習に取り組む」という傾向があるのかもしれない。また、部屋にこもって「スマホ」や「ゲーム」に夢中になるより、みんなの前で勉強しているこっちのほうがまだいいと考えてしまうのかもしれない。しかし、学習内容が難しくなればなるほど、「集中できる環境」の方が学習効率は高くなります。やはり「自ら学ぶ姿勢」を育てることが大切です。

この機会に是非一度、子どもさんと「学習する場所」について話し合ってみて下さい。